

令和 5 年度

合志市自治基本条例推進委員会 会議録

令和 6 年 3 月 4 日（月） 午後 7 時～8 時 40 分
（合志市役所 防災センター棟 避難所①）

[出席委員]

河野 徳朗	榮 ゆかり	森 涼子	金森 大次郎	鎌田 典子
東 肖己	吉村 京子	千代田 正人	中村 俊輔	坂田 由美子
辻 藍	辻 大二郎	西本 理喜子	衛藤 和博	岐部 則夫
柏尾 智之	青山 隆幸			

（敬称略） （17 名）

[欠席委員] 宮田 美野枝、上野 志折、(2 名)

[事務局] 佐藤企画課長《進行》 八浪主幹 渡邊主事

[議 題] (1) 合志市自治基本条例推進委員の活動について
(2) 合志市自治基本条例の運用状況について

[報 告] (1) 合志市総合計画策定について

[会議の公開・非公開の別] 公開

[傍聴者] 0 名

[会議内容]

1 【開会】

佐藤課長：皆さんこんばんは。ただいまから令和 5 年度合志市自治基本条例推進委員会を開催します。本会議は、公開会議となっておりますので、傍聴席が用意されていますことをお伝えしておきます。

2 【委嘱状交付】

佐藤課長：初めに、昨年度で委員の任期が終了しておりますので、今年度新たに全委員の委嘱を行います。荒木市長より、柏尾様に代表で交付します。

((委嘱状交付))

佐藤課長：柏尾様以外の方は、あらかじめ机の上に委嘱状を配布させております。

ご確認ください。

3【市長挨拶】

佐藤課長：ここで、荒木市長から挨拶を申し上げます。

荒木市長： 皆さんこんばんは。寒い中、自治基本条例推進委員会へご出席いただき、また、委員をご承認いただきまして重ねてお礼を申し上げます。

今回の能登地震を見ておりますと、道路が寸断され支援が入ってこない状況で活躍してくれたのが消防団でした。総務省をはじめ全国的に、この消防団を見つめ直そうという形で現在やられてるようです。この消防団活動は、郷土を愛するといった一念で活動していただいております、サラリーマン化している地域の中で、消防団に参加する人は激減しており、本市も745人の定員というのに対し、団員数が600人を切ってるという状況であります。

また、その次に活躍したのが自治会活動でした。新聞の報道によると、連日お互い家の中にあるものを持ち寄り、みんなで分かち合っ食べながら、まずは地域の皆さんで寒さをしのぎ、飢えをしのぎ、その後、自衛隊の物資がヘリで送られたということでありました。そのようなことを考えると、この自治基本条例というのは、市民の皆様方、また行政・議会の責務、果たすべきものを明確にした合志市の最上位法であり、この自治基本条例によって、それぞれの責務を果たしていくことが重要とされ、この条例に基づいて策定されたものが総合計画ということになります。

市民の皆様方のご意見を代弁していただくというのは、議会と、もう一つ、総合政策審議会という組織がありまして、そこから市民の代表としてのご意見をいただいております。

さらに、毎年3000人の市民アンケートを取り、その中からのご意見を踏まえながら、最終的に自治基本条例推進委員会の皆様方に意見を聞くと何段階にもなって意見聴取、協働というところで行政運営をしております。

いよいよ令和6年度からは、新たなまち作りの計画である第3次総合計画がスタートします。少しでも市民の方々の思いから乖離しないような政策をしていきたいというふうに思っております。

この自治基本条例というのは市民、議会行政、これが三位一体となってやっていくという最上位の条例であり、この委員会は市民の代表、議会の代表、職員の代表もこの中に参画をさせていただいております。まさに協働ということで、委員の皆様には忌憚のないご意見を出していただきたいと思います。

簡単ではございますが、委員をご承諾いただいた皆様方に改めて御礼を申し上げまして、挨拶に代えさせていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

佐藤課長： ありがとうございます。市長は所用がございますので、ここで退席をさせていただきます。

4【委員紹介】

5【委員長及び副委員長の選任】

佐藤課長：委員改選に伴い、委員長と副委員長の選任を行います。

合志市自治基本条例推進委員会条例第 6 条に委員の互選によって定めるとございます。自薦でも他薦でも結構です。ご意見はありませんか

【事務局一任の声】

佐藤課長：ありがとうございます。

ただいま、事務局、一任との声がありましたが、皆さんよろしいでしょうか？

((一同、異議なし))

佐藤課長：では、事務局より提案をさせていただきます。

委員長は柏尾委員、副委員長が坂田委員にお願いしたいと思います。

よろしければ拍手をお願いします。

((一同、拍手))

佐藤課長：ありがとうございます。では、皆様からご賛同いただきましたので、柏尾委員長と坂田副委員長は、前にお願いします。

委員長と副委員長の方から、一言就任の挨拶をお願いします。

柏尾委員長：ただいま、委員長を仰せつかりました柏尾智之と申します。合志市須屋に住んでおり、合志市が作られたまちづくり会社「合志未来研究所」というところに勤務しております。よろしくお願いいたします。

佐藤課長：ありがとうございます。坂田副委員長、お願いいたします。

坂田副委員長：坂田由美子と申します。

私は、合志市で総合型地域スポーツクラブヴィーブル FUN クラブというトランポリンをメインにした教室等をヴィーブルでやっており、その代表理事をしております。

また、合志市教育委員会の教育委員も仰せつかっております。

いろいろわからないことが多いですが、どうぞよろしくお願いいたします。

6【議題】 7【報告】 8【その他】

佐藤課長：では、合志市自治基本条例推進委員会条例第 7 条第 1 項の規定によりまして、委員長が議長

になるとございますので、柏尾委員長にこの後の議事進行をお願いします。

柏尾委員長：それでは次第に沿って進めてまいります。

今回は、初めて委員に選ばれた方も大勢いらっしゃいます。まず、議題1の自治基本条例推進委員の活動について、事務局より説明をお願いします。

それから、議題2の合志市自治基本条例の運用状況についても、事務局の方からご説明を続けてをお願いします。

(事務局説明・報告)

柏尾委員長：議題1、2、報告1、について説明がありました。何か質問等はございませんか。

岐部委員：新しく台湾の企業が来られますが、その分のアクションプランは、どの辺に反映されているのか。道路事情や企業への若者の就職だったり、多岐に渡ってくると思いますが、検討されていることがあれば、教えてください。

柏尾委員長：ありがとうございます。

TSMCの関係で、たくさんの外国の方が来られる影響といったところでしょうか。

岐部委員：普通の生活の中でもそうですし、具体的に、その企業がきた部分に対しての繋がりというか、その企業の従業員として、合志市に住んでいる外国籍の方もいらっしゃいますし、市とまちづくりに関して、その企業との繋がりが、何かあるのかなというようなところです。

佐藤課長：合志市自治基本条例の推進アクションプランには、その点は反映されておりませんが、企業の方とその外国から来られた方というのは、市の方で、多文化共生の連絡協議会を設け、今年度から、区長会や、企業連、行政等で、情報の共有をしています。多文化共生の連絡協議会については、今後も定期的の実施するところでございます。

森委員：私は、民生委員の代表です。私たちの地域では、高齢化が進んでいて、高齢化率30%を超えています。令和6年度から消防団もなくなります。1月に話し合いがあり、区長をはじめ、私（民生委員）も入り、区の役員の方々と話をしました。消防団の代わりに自主消防団を作るという話が出ましたが、私のような75歳の高齢者が、自主消防団に入らないと人がいないです。地域で消防団の人数で決まっていると思いますが、今の消防団は、2人です。

市の方も配慮してほしいです。実際、私もどこに消火栓があるかを見て回りました。この年で、消火栓を開けてホースを握るところまで習いましたが、実際に水が来たら怖いです。

これが、過疎化、高齢化率が上がっているところの状況だと思います。

それともう一つ。乗り合いタクシーですね。レターバスをまた変えられるのでしょうか。今、私達

の地域には、レターバスが通りません。地域のみなさんは、乗り合いタクシーを自分で予約していらっしやいます。85～90 歳の方にとっては大変だという意見が多いです。

どうか、今後、市でもこの問題を考えていただきたいです。

新興住宅地は、若い人が多いですが、私達の地域に小学生は2人しかいません。地域の中で若い人の声も聞けず、高齢者だけです。この現状を知っていただきたいです。よろしくお願いします。

柏尾委員長：ありがとうございました。

今のは、アクションプランとかではなくて、地域の現状をお伝えしたかったということでしょうか。関連して、防災の話になりましたけれども、防災士を持っている青山委員、何かコメントございますか。

青山委員：私がおります総務常任委員会（市議会）でも、消防団の話はよく出ます。団員が少なくなって、新しい若い人が入ってこないのので、補完的に、防災士というものを市でも養成しております。今、防災士は 180 人程おり、消防団ないところは、防災士に頑張ってもらおうということです。

私の地区は黒石団地ですが、消防団は 6 人しかおらず、周りの地区と一緒に作っておりますが、新しい団員は入ってきません。火事は、消すのもですけれども、夜通し見守っていないといけない後火が大変です。

そのため、黒石団地の自治会では、班に割り当てて対応しています。火を出した班とその組ですね。自治会として動かないとどうしようもないです。そういう消防団の補完的な役割を、やはり自治会が担うようになると私は思っております。また、防災士も、そういうところでは、地区の防災計画、防災訓練にも出て、いろんな防災リーダーになってもらうということで、今、180 人程おりますので、そういう人たちが、森さんところにもいらっしやるかと思います。

森委員：いないです。

青山委員：そうなのですね。もうすぐまた試験がありますので、ぜひ、区から1～2人出していただいて、防災士になっていただくと、やはり市民の役割というのも大事ですからね。よろしくお願いいたします。

森委員：はい、ありがとうございます。

柏尾委員長：青山さん、ありがとうございました。自主防災組織になってくると、区長さん方の働きも必要だと思うのですが、区長をなされた方からも、何かコメントがあれば頂戴したいです。

河野委員：実は私も詳しくは知らないですけど、区で自主防災組織を作っており、年に3～4回、会議をします。また、会議をした後に、防災センターの自分のところだけの点検ですかね。そういっ

たことは、しています。

消火器が使えるか、避難のための専用のリアカーがパンクしていないか、発電機が回るか。そういうことは、年に何回かしています。

私、区長として来ていますが、よその区のことを把握していません。申し訳ありませんけど。現状としては、そういう現状です。

柏尾委員長：ありがとうございました。

合志市には、いろんなツールがあり RKK テレビで D ボタンを押すと、合志市の防災情報がテレビで見られます。

いろんな手法で市は、情報発信をされています。意外と皆さんご存知ないのかなと思って、ちょっとご紹介も兼ねてデタポンを紹介してみました。初めて聞いたという方は、D ボタン押してデタポンを見ていただければと思います。

議題について、終了します。

続いて、報告でございます。合志市総合計画策定について、基本計画の概要版がありますので、事務局の方から報告をお願いいたします。

(事務局説明・報告)

柏尾委員長：ここからは意見交換をしたいと思います。総合計画策定時に、ワークショップを開催しても参加者を集めるのが大変だったということで、ワークショップや住民説明会などに住民に参加してもらうにはどうしたらいいのかという、協働について意見交換をしたいと思います。

参加しやすい場所や時間もいろいろあると思うんですが、やり方等、何かアイデアがあったら、ぜひ出してください。来年度はコミュニティ交通のための住民説明会があるとのことで、その手法についてもアイデアあればご意見お願いします。

森委員：高齢者の方に向けては、地域で、高齢者のサロンがあるので、そこに行かれるとよいのではないのでしょうか。レターバスについては、若い人よりも 65 歳以上の方が利用されていると思います。

柏尾委員長：ありがとうございました。今のは、高齢者のサロンが各地区であっているので、そこに出向いて行って、話を聞いたらどうかということですか。

森委員：そうです。

佐藤課長：高齢者サロンは、地域の中に多く存在します。全てのサロンっていうわけにはいかないでしょうが、そういう開催の工夫を検討していきます。

森委員：野々島地域は、合同サロンを年に1回します。野々島防災センターで、去年は11月に開催しました。そういうときにお見えになると、各地域のサロンは、15人～30人と少ないところもありますけど、合同サロンは市のバスがセクションをまわります。
そういうところに行かれたら意見も色々出ると思います。

佐藤課長：高齢者サロンについては、社会福祉協議会の方ともご相談をさせていただき、工夫していきます。

柏尾委員長：貴重なアイデアありがとうございました。他に何かご意見ございませんか。

岐部委員：すみません。具体的に、今、実際にレターバスを利用されている方のアンケートは取ってらっしゃいますか。

八浪主幹：やっています。今年度、ニーズ把握の調査を行ない地域公共交通計画を策定しました。

吉村委員：レターバスは、高齢者の利用率が高いって言われたのですが、実際、こどもたちは、利用したくてもバス停が近くにないため、利用していないというのが現状です。
できれば、私達に向けても説明や、意見を聞いてもらう、そして中学生の子たちにも聞いてもらう機会を設けてもらうと、とてもありがたいです。
説明会の機会をどうすべきかと今一生懸命考えたときに、色々な地域に行くのはとても難しいと思うので、何か学校単位での検討もお願いします。

柏尾委員長：ありがとうございました。ルートかの問題もありそうですね。それは今までいろんな検討の結果、今のルートに落ちついているのですかね。

佐藤課長：コミュニティ交通は、高齢者が主にターゲットになっていますが、多様な市民全体のニーズが高まってきています。高齢者のご意見も聞きながら、広い年代層のご意見を聞いていきたいと思っています。

柏尾委員長：皆さん、ありがとうございました。それぞれに、団体の立場や、地域の代表の立場、親御さんの目線などで、お話を聞かせていただき、皆さんの考えを全体で共有ができ今日は良かったと思います。

9【閉会】

佐藤課長：柏尾委員長、議事進行の方、ありがとうございました。
また皆さんから、たくさんのご意見をいただきまして、ありがとうございました。これをもちまして、令和5年度合志市自治基本条例推進委員会の方を閉会します。